



教祖140年祭

If you do not follow the path of the Divine Model, there is no need for a Divine Model... There is no path but the path of the Divine Model.

Osashizu, November 7, 1889

ひながたの道を通らねばひながた要らん。(略) ひながたの道より道が無いで。
(おさしづ 明治22年11月7日)

大まきのほんみち
たのしむでいよ

いまのみちいかなみちでもなくくなよ
さきのほんみちたのしむでいよ

(おふでさき第三号37)

人は誰しも明るく楽しい日々を過ごした
いものです。しかし長い人生の道中には、
思いがけずつらく悲しい出来事に遭ったり、
絶望の淵に突き落とされることもあります。
私は14年前に妻を病気で亡くし、心が真
つ暗闇に閉ざされました。残された6人の
子供達をどう育てるのか、途方に暮れ、た
だ嘆き悲しむばかりでした。
その中、冒頭のおふでさきに出会い、教
祖の親心に触れたように思い、心を前に向
けることができるようになりました。

親神様は人間が陽気ぐらしをするのを見
て共に楽しみたいとの思召から人間をお創
りくださいました。ところが人間は自由を
許された心を我が身勝手につかい誤るとこ
ろから、心の闇路をさまよっています。

親神様は旬刻限の到来とともに、教祖を
やしるとして表にお現れになり、世界一れ
つをたすけるため、陽気ぐらしへのたすけ
一条の道を創められました。

もし今、歎き悲しむ淵に立っているとし
たら、教祖のたすけ一条のひながたを定規
のように心に当ててみてください。必ず道
は拓かれます。教会はその談じ合いと実践
の場です。

本島大教会布教部(英)